

阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針に関する意見募集の結果

○意見募集期間：平成29年6月12日（月）～6月26日（月）

○意見提出件数：24件（延べ46項目）

○ご意見の概要と区の考え方

※本方針＝阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針とする

No.	項目	ご意見の概要	区の考え方
1	まちづくり方針策定の対象区域	対象区域について、阿佐ヶ谷駅周辺500mとした理由を説明してもらいたい。	<p>杉並区まちづくり基本方針における各鉄道駅周辺の拠点としての位置づけや、商業系用途地域の広がり等を踏まえ、あくまで駅周辺の目安として一定の距離を設定したものです。</p> <p>また、各駅勢圏の規模や地域特性に応じた商業や産業、公共サービス、文化・教育、交流などの都市機能の集積を図るとともに、個性的なにぎわいのある多心型の拠点形成を図っていく必要があるためです。</p>
2	将来像とまちづくりの目標	①本方針は、総合的な見地から検討されており、内容や結論の方向性等、概ね良いと思う。	本方針に挙げた課題の解決や取組を着実に進めていき、まちの将来像とまちづくりの目標の達成を目指します。
		②商店街など、昔から人のつながりがある場所を守り生かす将来像を描いてもらいたい。	<p>本方針では、にぎわいの創出や商店街の回遊性・快適性を向上させることで、魅力的なまちづくりの実現を目指します。</p> <p>また、計画の具体化にあたっては、ハード面だけでなく、地域・産業・文化活動等のソフト面の取組についても進めていきます。</p>
3	分野別方針（I） 防災の方針	①既存建物の災害耐性の評価や災害シミュレーションの実施と結果の周知共有を図ってもらいたい。 （他、同趣旨1件）	既存の区の地域防災計画は、都の被害想定により作成しています。現在、より詳細な地震被害シミュレーションを行うため、50mメッシュ（東京都は250mメッシュ）での調査を進めており、今年度中にはこの結果を公表する予定です。
		②阿佐谷地区の防災拠点は杉並第一小学校しか指定されていないが、多くの避難者が集まり混乱が生じない	杉並第一小学校は、震災救援所に指定されていますが、被災者の増大等により震災救援所が不足する場合

		<p>ようにしてもらいたい。</p> <p>また、緊急時には、妊婦、障がい者、乳幼児、高齢者など弱者にも配慮した避難所を設置してもらいたい。</p> <p>(他、同趣旨1件)</p>	<p>には、他の震災救援所も使用することを想定しています。</p> <p>また、区では区内の高校及び大学等を震災救援所の「補助・代替施設」として指定し協定締結もしておりますので、そちらの使用も視野に入れております。</p> <p>妊婦、乳幼児、障がい者等の災害時要配慮者については、区内7箇所の地域区民センターに二次救援所を開設し対応します。その中で、より専門的な支援が必要な方がいる場合は、民間事業者等を含めた区内22箇所の福祉救援所において対応します。</p>
		<p>③駅周辺の木造が密集した商店街については、火災の発生時に不安があるので、都市再開発事業の実施を検討してもらいたい。</p>	<p>本方針では、災害に強い安全・安心なまちという目標を掲げ、まちづくりの視点から防災の方針と取組を示しており、その具体化に向けて取り組んでいきます。</p>
		<p>④震災救援所にどのような施設が隣接することが望ましいかなど、防災面から考えた都市計画を検討してもらいたい。</p>	<p>本方針では、災害に強い安全・安心なまちづくりという目標を掲げ、燃えにくく倒れにくいまちづくりや災害時の活動に必要な道路空間等の確保、地域防災力の強化等に総合的に取り組んでいきます。</p>
4	分野別方針(I) 道路・交通の方針	<p>中杉通りから進入し、杉六東西通りを抜ける商業車が非常に多く危険である。通学路になっているので歩行者の安全性を確保してもらいたい。</p>	<p>通学時間帯における当該道路への中杉通りからの進入は、規制されているところです。また、「すぎなみの道づくり(道路整備方針)」において、主要生活道路の安全対策路線に位置づけられています。今後、関係機関と連携し、通学路の安全確保に努めていきます。</p>
5	分野別方針(III) 商業・生活サービスの方針	<p>駅前施設は、コミュニティの場・憩いの場の整備をしてほしい。</p>	<p>本方針に基づき、商店街の一層の個性・魅力づくりやにぎわいの連続性の確保、回遊性の向上や憩いの空間づくり等に取り組みます。</p>
6	重点的取組(1) 阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくり	<p>①現在の総合病院へのアクセス車両についても、早稲田通りから通行させる等工夫してもらいたい。</p>	<p>現状の交通規制等の変更は、地区内の交通ネットワークの利用状況などを踏まえ、警察等の関係機関と調整しなければなりません。杉一馬橋</p>

		通りの拡幅と相互通行については、本方針に基づき着実に進めます。
	②公共公益施設の移転と私有地との交換を含む土地活用案は、公共性や公益性が担保されるのであれば、歓迎する。	区が地権者の1人として参画する土地区画整理事業(個人共同施行)の施行により、将来に向けた教育環境の向上、首都直下地震発生の切迫性を踏まえた地域の防災性向上への早期の対応、土地利用の見直しによる民間と連携したにぎわい創出など、公共の福祉の増進につながるものと考えております。
	③けやき屋敷と周りの緑等を保存してもらいたい。樹木については、移植等も検討してもらいたい。 (他、同趣旨3件)	区としても、病院の移転改築に際して、屋敷林のみどりの保全と周辺環境との調和は重要と考えており、病院及び地権者と締結した協定において、「病院の移転改築に当たって、けやき屋敷のみどりや景観の保全に配慮する」旨の方針を明確に位置付けるとともに、土地利用の見直しや地区計画制度等の活用により、けやき屋敷のみどりを将来にわたって可能な限り保全し、周辺環境との調和等を図ってまいります。
	④総合病院の移転先に、区民が自由に利用できる公園等を整備してもらいたい。	また、病院や小学校の移転改築等を契機として、新たなみどりのネットワーク創出を図ります。
	⑤区とけやき屋敷地権者及び総合病院とで結ぶ3者協定に、「自然環境調査を行い自然環境の保全に向けた計画を地域住民とともに策定する」と「病院の建築内容を公表する」という一項を入れてもらいたい。	なお、病院の建築については、杉並区まちづくり条例等に基づき、関係事業者が説明会の開催等を行うとされています。
	⑥総合病院より先にある商店街も、にぎわいの連続性の中に含んだ方が良いと思う。	本方針では、にぎわい・地域活性化の拠点と、それらの拠点を結ぶにぎわいの軸を図示したものです。現在の総合病院に隣接する商店街のにぎわいのあり方についても、今後北東地区のまちづくりを計画する中で、検討していきます。
	⑦杉並第一小学校南側の商業施設も巻き込んで一体的な計画としてもらいたい。	当該施設の建物については、現時点では、具体的な建替え等の意向は伺っていませんが、今後、地区計画の検討など本方針の具体化に当たって

			は、関係者の意向にも注視して、取り組んでいきます。
		⑧総合病院がけやき屋敷の敷地に移転すること、また、杉並第一小学校が総合病院の跡地に移転する必要性について説明してもらいたい。	総合病院の移転と、杉並第一小学校の現病院用地への移転改築については、「杉並第一小学校等施設整備等方針」において、将来に向けた教育環境の向上が見込まれることに加え、地域の防災性の向上という喫緊の課題に対し、具体的な時期を見通し、早期に対応できるとともに、土地利用の見直しによる民間と連携したにぎわいの創出を図ることができることなどを総合的に考慮し、全体最適・長期最適の観点から決定しています。
		⑨杉並第一小学校が駅から離れてしまうと不便であると思う。	
		⑩総合病院や杉並第一小学校の移転改築では、小学校を一番先に造り上げてもらいたい。	
		⑪阿佐谷南地域にも地域区民センターを作ってほしい。	杉並第一小学校の新校舎は、総合病院が移転した跡地に建てるため、校舎を先に建てるということはありません。杉並第一小学校の移転改築については、「杉並第一小学校等施設整備等方針」に従って着実に進めていきます。  地域区民センターは、区民の通勤、買い物などの日常行動圏域として駅勢圏を中心に設定した7つの地域に1所ずつ設置しています。  阿佐谷地域におきましては、「杉並第一小学校等施設整備等方針」に基づき、けやき公園プール敷地を活用して移転改築しますが、ご意見については今後の課題として受け止めます。
7	重点的取組(2) 南阿佐ヶ谷駅周辺のまちづくり	南阿佐ヶ谷駅周辺まちづくりについて、具体的な計画があれば、記載してもらいたい。	現時点では具体化している計画はありませんが、本方針に基づき、関係機関と連携して検討していきます。
8	重点的取組(3) 中杉通り沿道の安全・快適で魅力的なまちづくり	①中杉通りの歩道と分離した自転車空間の確保は早急に実施してもらいたい。	歩道と分離した自転車空間の確保には、沿道権利者や商店街関係者等の理解と協力が必要なことから、中杉通り沿道の実態調査を行い、その結果を共有したうえで、地域、道路管理者、警察等と連携しながら、実現に向けて取り組んでいきます。

		<p>②中杉通りの歩道拡幅に合わせて、休日の一定時間帯に歩行者天国の実現に向けて検討してほしい。</p> <p>③中杉通りのゴミ清掃について、区としてシステム化やゴミ箱の設置等をしてほしい。</p>	<p>中杉通りは、並行するパールセンターが既に歩行者専用道路で自動車通行の受け入れが難しいことなどから、時間を限定した歩行者専用道路の実現は、困難であると考えます。</p> <p>まちのシンボルである中杉通りの清掃については、ボランティアの方々のご協力と、道路管理者が定期的実施しております。なお、ゴミ箱は安全管理上、設置していません。</p>
9	重点的取組(4)道路基盤の整備等による防災性の向上	<p>①災害対策と歩行環境の向上の観点から、狭あい道路の拡幅や電柱の地中埋設や電柱移設を早急に進めてもらいたい。 (他、同趣旨2件)</p> <p>②優先整備路線とされていない主要生活道路についても、道路の連続性を考慮し、将来のまちづくりになるべく支障が出ないように取り組んでもらいたい。</p>	<p>本方針では、狭あい道路の拡幅や無電柱化の推進を喫緊の課題として、その解決に向けた重点的取組に「道路基盤の整備等による防災性の向上」を挙げています。</p> <p>防災や交通安全等の観点から、生活道路や狭あい道路の拡幅等を通じて体系的なネットワークの整備に取り組むとともに、無電柱化についても積極的に推進を検討します。</p> <p>区は、体系的な道路網の整備を計画的に行うために都市計画道路と生活道路を一体とした「すぎなみの道づくり(道路整備方針)」を策定しました。それに基づき、道路を効率的に整備していきます。</p>
10	まちづくり方針の実現に向けて	<p>まちづくりは、デベロッパーなどの民間と連携して進めてもらいたい。</p>	<p>まちづくりを具体化していくにあたっては、区民・事業者・行政が、本方針で示すまちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を共有し、それぞれが担う役割と責務を果たしながら、協働してまちづくりを進めていきます。</p>
11	まちづくり方針の実現に向けて取組スケジュール	<p>①震災はいつ来るかわからないので、もっと早く実現してもらいたい。 (他、同趣旨1件)</p> <p>②中・長期的なスケジュールは、具体的に記述してもらいたい。 (他、同趣旨1件)</p>	<p>本方針では、安全・安心など喫緊の課題の解決に効果の大きいものなどを重点的取組として優先的に取り組んでいきます。</p> <p>区民・事業者・行政が、本方針で示すまちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を共有し、それぞれが担う役割と責務を果たしなが</p>

			<p>ら、本方針の具体化を進めます。</p> <p>また、区では、それぞれの取組の進捗状況や効果を検証するとともに、まちの動向等を踏まえ、おおむね5年を目途に本方針を見直すなど、まちづくりの実現に向けたフォローアップを行います。</p>
		<p>③各事業の予算を記載してもらいたい。</p>	<p>本方針は、「杉並区まちづくり基本方針」を補完し、まちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにすることによって、阿佐ヶ谷駅等周辺における個別具体のまちづくり計画や取組へのスムーズな橋渡しの役を担うものです。必要な予算については、本方針の具体化に向けた取組を進めていく中で、明らかにしていきます。</p>
12	その他	<p>①中杉通りの五日市街道への延伸は必ず行ってもらいたい。</p> <p>また、整備計画を都などと擦り合わせるに際し、区側も十分な検討と準備をして臨んでもらいたい。</p> <p>(他、同趣旨2件)</p>	<p>中杉通り（補助線街路第133号線）の区役所前から五日市街道までの区間については、広域避難場所である善福寺川緑地・和田堀公園への避難路が確保されるなど、地域の安全性向上が期待されるため、「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」（平成28年3月）において、今後10年間で優先的に整備すべき路線に位置付けられており、施行者である東京都と連携して、事業化に向けて取り組んでいきます。</p>
		<p>②杉並区には、母親と赤ちゃんが集える場所がありません。母親が子育てを学んだり、友達ができるような場所があれば、安心な地域になると思う。赤ちゃんや子供と母親が集える場所を作ってもらいたい。</p>	<p>現在、区では、乳幼児親子が気軽に集うことができる居場所として、児童館における「ゆうキッズ」を区内40か所で実施しています。また、NPO法人などが実施する「つどいの広場」4か所の運営を補助しています。</p> <p>いずれも、乳幼児親子がいつでも気軽に立ち寄り、安心して過ごすことができ、子育ての悩みなどを身近に相談できる場として、親子同士が交流できる場として、多くの方にご利用いただいています。</p>

		<p>また、「子ども・子育てプラザ」では、地域の子育て支援拠点施設として、乳幼児親子の交流の場の提供や身近な子育ての相談等のプログラムの提供、一時預かりなどの事業を実施しています。来年度には、新規2か所（荻窪地域・阿佐谷地域）の開設を予定しています。</p>
	<p>③阿佐ヶ谷駅前の公共公益施設等の更新に際し、区立図書館またはサービスコーナーの設置をしてほしい。</p>	<p>図書館は「7地域14館（1地域あたり2館）」構想に基づき設置してまいりました。現在、阿佐谷地域では成田図書館と阿佐谷図書館の2館整備が完了しており、まず1館整備に留まっている地域での図書館整備を目指していくことになります。</p> <p>阿佐谷地域での新たな図書館やサービスコーナーの設置は予定しておりませんが、図書館サービスの充実に関し今後とも取り組んでいきます。</p>
	<p>④新しいビルを建てる場合は、保育所、公共施設などの入居を条例化してほしい。</p>	<p>新規に建物を建てる際に、公共施設等の併設を義務付けることは、関係権利者等の合意形成が必要となり、課題が多いと考えます。</p> <p>なお、子育て支援施設等については、「杉並区建築物の建築に係る住環境への配慮等に関する指導要綱」の中で、一定の規模の建設事業を行う事業者に対し、区と子育て支援施設等に関する協議を行い、その協議結果に基づき適切な措置を講ずるよう指導しています。</p>
	<p>⑤アパート・マンションの建設時には、ゴミ置き場の設置の義務付けやゴミの管理に関する罰則を条例化してほしい。</p>	<p>区では、「杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例」等により、建設時の事前協議、廃棄物の保管施設の基準等を定めています。</p>

●阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針（案）の修正一覧

No.	修正箇所	方針（案）	修正内容	修正理由
表紙				
1	P.1	<p>杉並区では、JR阿佐ヶ谷駅・東京メトロ南阿佐ヶ谷駅周辺を含む一帯の地域（阿佐ヶ谷駅等周辺）について、区民、事業者、行政がこの地域のまちの将来像を共有し、取組の推進を図るため、「阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針」の策定に向けて検討を進めてきました。</p> <p>平成28年6月にまちづくり方針の「中間まとめ」を公表し、オープンハウスの開催等を通じて皆さまのご意見をうかがいました。それらのご意見等を踏まえ、このたび「阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針（案）」としてとりまとめました。</p> <p>今後、この案について、再度地域の方々からご意見をうかがい、「まちづくり方針」を策定してまいります。</p>	削除	方針（案）への意見を伺う際の説明のため全文を削除
2	P.2	オープンハウス等での主な意見	中間まとめにおけるオープンハウス等での主な意見	表現の適性化
【1. 方針の策定にあたって】まちづくり方針の策定プロセス				
3	P.5	●今後、この案について説明会や意見募集を行ったうえで、まちづくり方針を策定します。	●平成29年6月に、まちづくり方針（案）について説明会や意見募集を行ったうえで、まちづくり方針を策定しました。	平成29年7月時点の状況にあわせて修正
4	P.5	各スケジュール 平成29年6月（予定） 平成29年7月（予定）	各スケジュール ※（予定）を削除 平成29年6月 平成29年7月～	平成29年7月時点の状況にあわせて修正



5	P. 5	<u>まちづくり方針（案）の公表</u>  中間まとめに皆さまの意見を反映するとともに、より具体的な取組内容を示し、方針（案）として <u>提示します</u>	<u>まちづくり方針（案）の公表</u>  中間まとめに皆さまの意見を反映するとともに、より具体的な取組内容を示し、方針（案）として <u>提示しました</u>	平成 29 年 7 月時点の状況にあわせて修正
6	P. 5	<u>説明会（オープンハウス形式）・意見募集、まちづくり団体等からの意見募集</u>  意見の把握 （案）についてご意見をお聞きします	<u>説明会（オープンハウス形式）・意見募集、まちづくり団体等からの意見募集</u>  意見の把握 （案）についてご意見をお聞きしました	平成 29 年 7 月時点の状況にあわせて修正
7		<u>★上記の今後の取組やスケジュールは予定です。状況に応じて今後変更する場合があります。</u>	<u>削除</u>	平成 29 年 7 月時点の状況にあわせて修正
<b>【5. 取組の重点化】重点的取組（1）阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくり</b>				
8	P. 16	<u>■進め方</u> <u>●地域のまちづくり団体が、地区計画制度の活用等を視野に入れた「まちづくり構想」の検討を行っている状況などを注視しつつ、地域住民等との意見交換等を密に行いながら、上記の取組を計画的に進めます。</u>	<u>■進め方</u> <u>●地域のまちづくり団体が、地区計画制度の活用等を視野に入れた「まちづくり構想」を区に提案したことなどを踏まえつつ、地域住民等との意見交換等を密に行いながら、上記の取組を計画的に進めます。</u>	平成 29 年 7 月時点の状況にあわせて修正
9	P. 17	<u>図</u> 杉一馬橋公園通りの整備による周辺の震災時の消防活動の円滑化について <u>現在</u>	<u>図</u> <u>現在の杉一小の位置修正</u> 杉一馬橋公園通りの整備による周辺の震災時の消防活動の円滑化について <u>現在</u>	表現の適性化
<b>【5. 取組の重点化】重点的取組（3）中杉通り沿道の安全・快適で魅力的なまちづくり</b>				
10	P. 23	<u>写真</u> 共同の駐車場・荷捌きスペースのイメージ	<u>写真</u> <u>差し替え</u> 共同の駐車場・荷捌きスペースのイメージ	表現の適性化
11	P. 29	<u>表題</u> <u>オープンハウス等での主な意見</u>	<u>表題の変更</u> <u>中間まとめにおけるオープンハウス等での主な意見</u>	表現の適性化